

我孫子市西部福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例に対する意見募集  
(パブリックコメント) 結果

整理 番号	提出された意見		意見に対する市の考え方
1-1	意見	利用者として廃止に反対します。	<p>利用者の減少の他にも施設の老朽化による維持コストの更なる増加が見込まれるため、1館に統合することが適当であると判断しています。</p> <p>また、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共施設を意見交換の場所としてご活用ください。</p>
	理由	利用者同士の意見交換の場所の一つとして当初の目的に合致しています。	
1-2	意見	廃止に反対です。	<p>2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。</p> <p>令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
	理由	つつじ荘と西部福祉センターの2カ所が必要です。一方が故障した場合、もう一方が利用できます。	
1-3	意見	廃止に反対です。	<p>つつじ荘と西部福祉センターは、高齢者の福祉の増進のため設置し運営してきました。</p> <p>しかし、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれることから、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
	理由	設立の目的が達成されているのに廃止するのは不合理です。	
1-4	意見	廃止に反対です。	<p>身近な公共施設や民間の高齢者施設などを拠点とし、介護予防を展開していくことから、新たな施設整備を行う予定はありません。</p>
	理由	将来同じ種類の施設をつくる場合、費用がもっとかかります。現在の2つの施設を有効に利用する	

		方が効率的です。	
2-1	意見	市は西部福祉センターを廃止して、つつじ荘に一本化する方針であるが、これに反対する。廃止しないで「介護予防」のための訓練・運動施設として有効活用する。	<p>「介護予防」については、多くの人が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>広報については、市や指定管理者のホームページに掲載されています。つつじ荘へ統合する場合は、SNSやインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討し、引き続き周知していきます。</p>
	理由	<p>①築30年の西部福祉センターはまだ十分に使える。この施設を「介護予防」の推進のために有効活用を図り、もっと市民の健康をはかり、寝たきりや認知症予防に役立てる。これからは高齢者がもっと増える。高齢者が健康であればその分、市が医療費にかけると予算が少なくてすむ。市民が「我孫子市に住んで良かった」と思えるようになる。</p> <p>②利用者が少ないのが廃止の理由になっているが、私を含め周りの人が殆んど、その存在を今まで知っていない。もっと大いに宣伝してこなかったことが一番の原因である。</p>	
3-1	意見	西部福祉センターを廃止する条例を取り止めてください。	<p>社会情勢の変化とともに、市民全世代のニーズに対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、概ね市の中心に近いエリアに位置していることに加え、西部福祉センターの約3倍の収容能力があることから、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
	理由	<p>現行の2カ所の福祉センターの維持が経済的な理由から難しいのであれば、「つつじ荘」を残すより「西部福祉センター」の方を残して頂きたいです。市としての事情がお客様の事とは思いますが、宜しく御考察の程、お願い申し上げます。</p>	
3-2	意見	送迎バスを利用させて頂き、	つつじ荘へ統合する場合は、西側の地域か

		毎日元気にカラオケ三昧で膝の痛みを忘れさせてくれ、感謝の毎日を送っております。一人暮らしの不幸も軽減され、本当にありがたいと思っております。現在、無料で利用させて頂いておりますが、多少の有料化も考えに入れたら良いと思います。	らつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。 また、カラオケの利用等については、引き続き利用者が快適に利用できるよう、考慮していきます。 老人福祉センター2館の運営に要する費用から換算すると、利用者1日一人当たりのコストは、2,268円と高額になります。 利用料については、老人福祉センターの設置目的と整合を図りながら検討していきます。
	理由	なし	
4-1	意見	当該センターの廃止に反対	理由①について、西部福祉センターは、平成4年に、老人福祉法により高齢者に対して健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的として設置されました。 老人福祉センターの1日当たりの平均利用者数及び延べ利用者数は現在徐々に戻りつつありますが、コロナ禍以前、さらには開設当初の水準までは戻っていない状況です 現在では、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共施設を是非ご活用ください。 理由②について、統合後のバスルートについては、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など検討するとともに、高齢者の交通手段については庁内で検討していきます。
	理由	①我孫子市の高齢化は県内でも進んでおり、今後もますますこの種の施設の重要は高まること。 ②施設利用者の便のために運行されているバスは、沿線住民の足として高齢者のみならず重宝されていること。特に最近バス便数が減っていることから一日数本の減便でも影響は大きい。	
4-2	意見	当該センターの利用促進策を強化すべき	老人福祉センターが高齢者の「居場所」として親しまれている場ではあると認識しています。 社会情勢の変化とともに、市民全世代のニーズに対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、概ね市の中心に近いエリアに位置していることに加え、西部福祉セン
	理由	当該施設を有効、積極的に活用する市当局の姿勢が全く見られない。そもそも施設の存在を知っている市民があまり	

		<p>いない現状に市の姿勢に大きな疑問を感じている。安易な「廃止」案には納得できない。この様な施設を利用したい市民は多くいるはずである。廃止は時代に逆行していると思う。</p>	<p>ターの約3倍の収容能力があることから、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。</p> <p>広報については、市や指定管理者のホームページに掲載されています。つつじ荘へ統合する場合は、SNSやインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討し、引き続き周知していきます。</p>
5-1	意見	<p>西部福祉センターの運営継続を願う。</p>	<p>広報については、市や指定管理者のホームページに掲載されています。つつじ荘へ統合する場合は、SNSやインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討し、引き続き周知していきます。</p> <p>なお、講習会等については、現在も指定管理者が企画運営し、好評を得ていることから、指定管理者の公募の際に提案事項として検討していきます。</p>
	理由	<p>近い、安い、気持ちよく利用出来る。</p> <p>①もっと高齢者にPRする。</p> <p>②センターを利用して、講習会等を企画して利用拡大をはかる。</p>	
6-1	意見	<p>脱衣所ロッカーの「カギ」がほしいです。大部屋は、机、高イスは助かります。センターを知らず令和5年4月から利用。早くから利用したかった。カラオケ店に声が出ない時に行きました。1時間食べ物付き2,000円。ベルクで買い物が出来て助かります。</p>	<p>脱衣所のロッカーの「カギ」については、つつじ荘の入浴施設には装備されています。</p> <p>また、多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になるため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>つつじ荘に統合する場合は、多世代で交流できるイベントの開催などについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討していきます。</p>
	理由	<p>世代交流（保育園、学校、各家庭等）色々問題点があるので良い方向に工夫して、戦争人生経験、良い事、失敗した事等、なんでも話しでき、知らない事を知る。</p> <p>・ボランティアしたいと思っても当日いけないと迷惑がか</p>	

		<p>かるので出来ませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内職、手芸が好きでバネ指、母指痛み、使わないと治る。</li> <li>・夜までパッチワークして鳥目で夜見えませんやめると治る。</li> <li>・人生長くなり介護する生活が終わって自分が両足しびれ膝カクンになり転んでます。</li> </ul> <p>今は苦勞してきたので、市からのご褒美と感謝しています。1年でも続けてほしいと願っています。ありがとうございます。</p>	
7-1	意見	<p>継続する為の方法、手段等意見を聞いたのでしょうか。閉鎖を前提とした意見書と読みとれます。</p>	<p>老人福祉センターは当初、市の直営で運営していましたが、平成18年度から指定管理者制度を導入し、経費削減やサービスの質の向上を図ってきました。</p> <p>しかし、高齢者の生活様式の変化等により利用者の減少及び固定化が進んでいることや、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれていることなどから、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
	理由	<p>福祉が充実した我孫子市のキャッチフレーズも経済的理由から、市民の声もそれ程聞かず閉鎖の方向に走っています。利用者数の減少もあると思います。</p>	
7-2	意見	<p>建物も年月が経てば老朽化します。常にリニューアルの予算も考えなくてはなりません。福祉施設の所在の内容のPR不足も考えられます。</p>	<p>2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。</p> <p>現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後</p>
	理由	<p>代替(統合の建物)は50年も経っています。リニューアルとアクセスの検討をお願いします。人生100歳時代。</p>	

			<p>も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、1館に統合することが適当であると判断しています。</p> <p>つつじ荘に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。また、修繕すべき箇所には優先順位をつけ、先順位から修繕を行います。</p> <p>広報については、市や指定管理者のホームページに掲載されています。つつじ荘へ統合する場合は、SNSやインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討し、引き続き周知していきます。</p>
7-3	意見	生涯を終える時、我孫子に住んで幸せだったと思う町でありたい。	市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を念頭おき、高齢者の福祉に資するよう市政の運営を目指していきます。
	理由	なし	
8-1	意見	人口密度の高いところに有るセンターを守ってください。歩きの人も多い場所で自転車も利用出来る商店も近い買物が出来る便利な場所に有り買物をしてバスで帰れて老いでの暮らしに大変都合が良い市内の集合中心に近い所に有り老いて大変に助かる場所に有るセンターをなくさないでください。利用に大変都合良い場所西部福祉センター仲間は助けあい満点の利用者。遠くへ行かせないでください。	<p>高齢者の「居場所」として親しまれている場ではあると認識しています。しかしながら、高齢者の生活様式の変化等により利用者の減少及び固定化が進んでいることや、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれています。</p> <p>また、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設、市民主体の多様なサークル活動などの集いの場が存在しています。近隣センター等の公共施設を是非ご活用ください。</p>
	理由	生活と共に利用できる仲間の世話をしながら助け合い、利用できる。あまり遠くでは仲間の世話の余裕なし。センターでお互いの助け合	

		いが必要。元気な者が守る。寒くなれば手首足首の防寒用品も提供してきましたが不便な所では短時間利用のボランティアが出来なくなる。	
8-2	意見	利用者の不便な場所でないこと、家庭を守りながら利用しやすい事、家路に近い所に有る事、短時間で利用便利な所に有ること、通うに近い事、人口密度の高い場所で有る。	<p>市内全域からの利用を考慮すると、つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、市内全域からアクセスしやすい位置にあります。</p> <p>1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	利用者が通いやすい、家路の通いやすい事、家庭生活と共に利用できる人口密度の高い所、病院通いしながらでも通える、生活の短時間でも利用できる。	
9-1	意見	西部センターを潰さないで下さい。	<p>現在の西部福祉センターは、高齢者の生活様式の変化等により利用者の減少及び固定化が進んでいます。</p> <p>2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
	理由	西部福祉センター近隣には大規模団地が二カ所もあり、利用者待機組が大勢待っています。持続可能な施設です。	
9-2	意見	つつじ荘と統合しても西部は廃止しない。	多くの人々が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているた

	理由	西部センター近隣には商業施設が3カ所もあります（スーパー等）センターを利用しながら買い物も楽しみフレイル予防最適です。食事は命の維持。	め、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。
9-3	意見	つつじ荘統合、周囲バス自動車安全は。	1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。 また、地域住民の交通安全に十分配慮し、バスを運行していきます。
	理由	通称みどり台地域は細い生活道路、そこをバス、自動車が頻繁に運行し子供達の安全安心が脅かされる心配が多い。	
10-1	意見	廃止、統合ありきの方針ではなく、今後のスケジュールを明確にしてからでは。	つつじ荘へ統合する場合の入浴事業については、利用時間の延長も含めてサービスが向上できるよう検討します。 自宅での入浴について心配なことがありましたら、お近くの高齢者なんでも相談室にご相談ください。
	理由	入浴施設 自転車、徒歩の利用者は送迎バス利用になると思うが、配置に多人数を今の施設でどう対応しますか。利用者の9割は70代80代でお風呂を目的に、4人に1人が1人暮らしで入浴時の事故の心配は本人を含め同居していない家族が懸念している。	
10-2	意見	送迎バスのルートを事前に公表	1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。
	理由	現行バスで午後から利用する人は、西部発13時からつつじ荘着13時27分。帰りはつつじ荘発15時7分から西部着15時50分。つつじ荘滞在時間1時間30分（往復1時間30分かかる）麻雀とお風呂利用が出来ない。午前中から利用する場合、食事が心配。西部では近隣の飲食店を利用し、帰りに買い	



		物もできる。	
10-3	意見	健康に重大な問題	<p>多くの人が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>また、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共施設をご活用ください</p>
	理由	<p>自転車、徒歩利用者はバス利用は時間が限られて利用しにくく、つつじ荘に行く人が少ない。教育(今日行く)、教養(今日用事)目的場所がなくなりフレイル予防、人とのふれあい、話し合いの場がなく、引きこもり認知症の恐れが増す。</p>	
11-1	意見	「西部福祉センター」の存続を是非お願いしたい。	<p>老人福祉センターが高齢者の「いやしの場」として親しまれている場ではあると認識しています。</p> <p>しかしながら、社会情勢の変化とともに、市民全世代のニーズに対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、概ね市の中心に近いエリアに位置していることに加え、西部福祉センターの約3倍の収容能力があることから、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。</p> <p>また、多くの人が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になるため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>なお、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共施設をご活用ください。</p>
	理由	<p>いやしの場として、風呂、カラオケ、囲碁、将棋、麻雀、マッサージ機を使用、高齢者は一人で家にいるより、みんなと楽しめセンターでの情報・体等のいろいろな不安な事、お互い話合い、笑ったり、生きがいを感じ、家にとじこもる事なく、元気で老後を過ごす事が出来る。</p>	

11-2	意見	「つつじ荘」は田畑の中で交通の利便性が悪く利用したくない。	<p>市内全域からの利用を考慮すると、つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、市内全域からアクセスしやすい位置にあります。</p> <p>1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	「西部福祉センター」は位置的にも、高齢者は徒歩・自転車でも利用でき、独居や健康の不安、買い物も近くのスーパー（ベルク）で出来、とても有意義に活用出来る事がメリットである。	
12-1	意見	西部センター、つつじ荘、老人福祉センターの一本化には反対します。	<p>市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共施設をご活用ください。</p> <p>また、多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になるため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>なお、1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	住所的にはつつじ荘が近いのですが、運転できるので西部センターに毎日行っています。体育館でスポーツしたあとつつじ荘に5年くらい行ってましたが、西部センターに見学に行って、買物、銀行、食事、すべて近くにありそれからは10年くらい西部センターに行っています。カラオケだけでなく情報交換の場所、コミュニケーションをとりやすい場です。今は生活の「いちぶ」になっています。生活の「いちぶ」をとりあげないで下さい。	
13-1	意見	つくし野お風呂を辞めないで欲しい。1カ所にするのは80過ぎは遠すぎるし、バス停も駅までになると、30分は見ないと近く迄来ているバス停は辞めないで欲しい。体力気力が無くなり、家に閉じこもり唯一の場所です。	<p>つつじ荘へ統合する場合でも、入浴事業については、利用者が安全で快適に利用できるよう、検討していきます。</p> <p>1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。利用者負担については検討していきます。</p>
	理由	市のお風呂は、地域の人々に重要。お風呂にはリラックスしたり、ストレスを解消したりする効果又、病気等のお話、情報でとても生き	

		<p>がいです。会費1カ月3千円でもお支払いしても良いと思います。市も他に節約する所はほかに有るはずです。市議員が多すぎです。</p>	
13-2	意見	<p>デイサービス等、たくさん出来ているのに、支援とか、デイサービスには市の税金の方は、その方にかかるのではないですか。</p>	<p>多くの人が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>統合する場合も入浴事業については継続します。見守りなどを強化し利用者が安全で快適に利用できるよう、検討していきますので是非ご利用ください。</p> <p>なお、ご自宅での入浴について心配なことがありましたら、お近くの高齢者なんでも相談室にご相談ください。</p>
	理由	<p>家のお風呂を上がった時、気を失って非常ベルでTELもできない状態で、気が付かれず、家の中のお風呂には入れないのです。年を取らなければ解らない事です。</p>	
14-1	意見	<p>今年の3月に西部福祉センターをつつじ荘に統合するということを知り全く寝耳に水であった。市の高齢者支援課などからの説明文書により市の意向は解かったが、私は統廃合は絶対に反対である。</p>	<p>老人福祉センターの1日当たりの平均利用者数及び延べ利用者数は現在徐々に戻りつつありますが、コロナ禍以前、さらには開設当初の水準までは戻っていない状況です。</p> <p>また、市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等を是非ご活用ください。</p> <p>広報については、市や指定管理者のホームページに掲載されています。つつじ荘へ統合する場合は、SNSやインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討し、引き続き周知を図っていきます。</p>
	理由	<p>利用者の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両施設とも減少の傾向にあったが昨今のコロナの影響もあり、未だ完全に収束している訳でなくやむを得ない状況と考える。最近は増加の傾向にあります。</li> <li>・高齢者の生活様式が変化しているというが、昔と比べれば多少の変化はあるでしょう。高齢者向けのサークル等が種にあるが、年金生活に入った高齢者が容易に利用</li> </ul>	

		<p>出来るのは一部の人に限られるのではないだろうか。</p> <p>・アンケート調査の結果を見ると、施設の存在やその内容の知らない人が大分いるのではないだろうか。一つの策として市が月2回発行する広報誌などを通して市民の皆さんへの積極的な宣伝活動も必要と思われる。我孫子市が福祉関係に力を入れていることを市民に広く知らせるべきである。</p>	
	意見	地理的特性その他	
14-2	理由	<p>我孫子市は東西に長い地形であり、つつじ荘はその中心に近く位置しているというが、つつじ荘へのアクセスは非常に悪く、道路が狭く、つつじ荘が残ったとしても利用者用の巡回バスおよび高齢者運転の乗用車の運行が頻繁になり、近隣の住人は交通事項を懸念するのではないだろうか。要するにつつじ荘の周囲の環境などを考えると高齢者の福祉施設としては不適であると考えられる。築後50年経過したつつじ荘を改修するにあたり約1億5,000万円を要することであるがこの際経費削減のため規模を小さくし西部福祉センターとの併設なども考えられないだろうか。</p>	<p>つつじ荘へ統合する場合、送迎バスの現行の運行ルートを基本に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p> <p>2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。</p> <p>令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。</p> <p>現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、1館に統合することが適当であると判断しています。</p> <p>なお、1館に統合する場合は、市内全域から高齢者が集まるため、収容人員は重要な判断基準となります。</p> <p>収容人員は、つつじ荘は290名、西部福祉センターは100名であり、つつじ荘の方が約3倍の収容能力があります。</p>

14-3	意見	西部福祉センターの利点その他	
	理由	建物の傷みはあまり目立たずあと20年位は耐えられると思う。当センターは我孫子駅に近く道路は国道6号線も近く周辺の道路も整備されておりつつじ荘近隣と比べると数段の利点があります。利用者は徒歩、自転車、乗用車、巡回バスで来館しすばらしい環境であります。市街地に近いため、昼休みや帰り道に買物をしたりして生活のプラス面が非常に高いです。また、西部地区は東部地区に比べ人口密度も高く、駅周辺にはマンションが林立しており、住民の皆さんも高齢者になった時に必ず公的な「いやしの場」が必要になります。その為にも西部福祉センターの廃館は絶対に止めるべきである。	<p>高齢者の「いやしの場」として親しまれている場ではあると認識しています。</p> <p>しかし、高齢者の生活様式の変化等により利用者の減少及び固定化が進んでいることや、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれています。</p> <p>今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
14-4	意見	結論	<p>老人福祉センターの利用者数は、高齢者の生活様式が多様化したこと、近隣センターなどの高齢者が利用できるコミュニティ施設の整備が進んだことなどから減少傾向にあります。利用者の固定化も課題となっています。</p> <p>老人福祉センター2館の運営に要する費用から換算すると、利用者1日一人当たりのコストは、2,268円と高額になります。施設</p>
	理由	市の財政状況で経費の節減に努めていると思いますが、そのしわ寄せが高齢者の福祉施設に波及するという事は言語両断である。統廃合の問題はもう少し時間をかけて検討する余地があると思われれます。高齢者の数は今後も増加の傾	

		向にあります。行政の素晴らしい高齢者の福祉政策を期待しております。	<p>の老朽化による維持コストの更なる増加も見込まれます。</p> <p>限られた市の財源で社会情勢に伴い変化していく市民全世代のニーズに対応し、かつ持続可能な財政運営をしていく必要があることから、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。</p> <p>なお、市民活動や交流の場所として西部福祉センター開設当初と比較し、近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等を交流の場所としてご活用ください。</p>
15-1	意見	センター廃止反対を大きな声でさげびたいと思います。	<p>市民活動の場として西部福祉センター開設当初と比較し近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣センター等の公共を是非ご活用ください。</p> <p>また、多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p>
	理由	老人と呼ばれ行く所もなくなり、テレビばかり家で見ていたらボケて来ます。人と話をし、お風呂に入り、趣味のカラオケを楽しみにしています。時間的にも家からバスで丁度良いかなと思っています。	
15-2	意見	つつじ荘は時間的に遠くなり、反対です。うば捨て山が思い浮かびます。働く所、少々手伝いが出来る場所があれば、それも良いかな。いつまでも元気に居られる。元気に応じて。	<p>市内全域からの利用を考慮すると、つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、市内全域からアクセスしやすい位置にあります。</p> <p>1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。</p>
	理由	バスに乗る時間が長くなり疲れを覚えると思います。これからの年齢を思うと近くの方が良いと思っています。絶対廃止反対です。	
15-3	意見	どうして千葉のはずれ、茨城の近	1館に統合する場合は、市内全域から高齢

		くへ行かなければならないのでしょうか。今現在、楽しんでます。お陰様で……。今のままで続けてください。	者が集まるため、収容人員は重要な判断基準となります。 収容人員は、つつじ荘は290名、西部福祉センターは100名であり、つつじ荘の方が約3倍の収容能力があります。
	理由	買物が不便です。センターは近くにスーパーも出来、お弁当も夕食の買物等も済ませる事が出来ます。	
16-1	意見	西部福祉センターとつつじ荘統合には反対致します。	2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。 令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。 現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。
	理由	我孫子市人口の30%が65歳以上であり（4万人以上）今後5～10年となると40%超えると思われれます。現在施設は2カ所ですが、今後もっと必要となると思われれます。今高齢者も70歳くらいでは働いていますが5～10年となると健康面でセンターの様な施設が必要となります。	また、今後70代、80代となる世代については、様々な社会参加の場で活動することが予想されます。身近な公共施設や民間の高齢者施設などを拠点とし、介護予防を展開していくことから、新たな施設整備を行う予定はありません。 多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。
16-2	意見	西部センター、つつじ荘の使用状況は1日100人前後だと思いますか。	広報については、市や指定管理者のホームページに掲載されています。つつじ荘へ統合する場合は、SNSやインターネットを通じ

	理由	アンケートの状況で知らないとの人が（80%以上）との事なので健康福祉部としてのPRが不足なのではないかと思えます。ですので利用者が少ない原因ではないかと思えます。	て施設利用のPRを進めることについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討し、引き続き周知を図っていきます。
16-3	意見	市の財政については厳しいのはわかりますが、色々施策をしなければ悪くなる一方ではないかと思えます。我孫子は東京から40～50分で交通の便の良い地域に有ります。都会でもない田舎でない子育てには良い地域と思えます。又、住宅についても都心の半分位だと思えます。	今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。
	理由	①企業の誘致 ②若者の転入の推進 ③手賀沼を中心とする観光事業の推進 ④ふるさと納税による税の増収 ⑤空き家が多くなるので使用の推進	
16-4	意見	西部福祉センターの利便性について	市内全域からの利用を考慮すると、つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、市内全域からアクセスしやすい位置にあります。 なお、1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。
	理由	①この地域にはスーパー飲食店、駅などとても高齢者にとってはとても便利な所に有ります。又、つつじ荘においては周辺に何も有りません。 ②歩いていける場所に有り、つつじ荘においては車で行く事しかできません。	
16-5	意見	西部センターに来ている人の半数以上の方は妻や夫を亡くして一人で生活している人がいます。	多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来る！」



	理由	<p>問題点</p> <p>①一人生活の為、人とのふれあいが無いのが心配</p> <p>②風呂で倒れるのが心配</p> <p>③歩くことや運動の目的がなくなる</p> <p>以上から西部センターが必要と思います。</p>	<p>あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p> <p>なお、ご自宅での入浴について心配なことがありましたら、お近くの高齢者なんでも相談室にご相談ください。</p> <p>つつじ荘へ統合する場合も入浴事業については継続します。</p> <p>見守りなどを強化し利用者が安全で快適に利用できるよう、検討していきますので是非ご利用ください。</p>
17-1	意見  理由	<p>西部福祉センター廃止条例（案）は撤回すべきである。</p> <p>西部福祉センター有り方方針（案）について「4月10日意見交換会（約50名参加）」「5月29日説明会（約50名参加）」そして「パブリックコメント（37件意見）」では、全員が西部福祉センターは存続するべきであるとの意見であった。主たる意見は「築年数30年であり老朽化していない、多額のコストは必要としない」「利用者数コロナ禍以前に回復傾向にある（高齢者支援課による利用者減少の判断は単年度のみのものであり、正確なものではない、判断は3年程度の複数年度にすべきである）さらに「約80%近くが徒歩・自転車で行くことができ、利便性が良い」「健康寿命の増進・介護の予防に役立っている」ものである。したがって、西部福祉センターは存続するべきであると考えられる。高齢者支援課は高齢者を痛めつける策定は止めて、思いやりの</p>	<p>今後も市の高齢者数は増加が見込まれますが、高齢者の生活様式の変化等により、コロナ禍以前さらには、開設当初の利用状況に戻るのには難しいと考えています。</p> <p>また、市内全域からの利用を考慮すると、つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、市内全域からアクセスしやすい位置にあります</p> <p>1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。</p> <p>さらに、多くの方が健康な状態からフレイルを経て、要介護状態になると考えられているため、フレイル予防として「15分で出来る！あびこ元気アップ体操」を市内16か所の強化型きらめきデイサービスで行っています。是非ご利用ください。</p>

		ある支援を強化すべきである。	
17-2	意見	パブリックコメント意見公表について	<p>パブリックコメントの結果の公表については、「西部福祉センターの設置及び管理に関する条例(案)」の閲覧場所だった施設に配置します。</p> <p>なお、西部福祉センターにも回答を配置し、送付いたします。</p>
	理由	パブリックコメント意見公表について、利用者は70代、80代の高齢でパソコンの取り扱いができないため、ホームページを閲覧することができない。パブリックコメント意見公表は西部福祉センターへ送付のこと(部数100部)また、送付期限を明示のこと。	
18-1	意見	西部福祉センターの建物は、30年しか経過していない。	<p>2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。</p> <p>令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。</p> <p>現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
	理由	老朽化とは言えない。 あと、20年～30年は十分利用出来ると考える。	
18-2	意見	センターは、広報不足で殆どの方が知らないでいる。	<p>広報については、市や指定管理者のホームページに掲載されています。1館に統合する場合は、SNSやインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討し、引き続き周知を図っていきます。</p> <p>高齢者の「居場所」として親しまれている場ではあると認識しています。</p> <p>しかし、高齢者の生活様式の変化等により</p>
	理由	利用したい人はかなりいると思われる。 むしろ、市では増やしたくない(廃止できにくくなる)のではないかと勘ぐってしまう。一回でも利用すると、むしろ病みつきになる。近隣センター等と違い、予約等いら	

		ず、居心地がよく、裸の付き合いが出来、自由等である。	利用者の減少及び固定化が進んでいることや、施設の老朽化により維持コストの更なる増加が見込まれています。 今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。
18-3	意見	運営コスト削減の検討。市の提案では、具体的に検討がなされていないと思われる。 いきなり統合ではなく、先ずは経費の削減から行うべきと考える。	老人福祉センターは当初、市の直営で運営していましたが、平成18年度から指定管理者制度を導入し、経費削減やサービスの質の向上を図ってきました。 しかし、2館とも老朽化が進んでおり、施設を安全に維持していく上では、建物や設備の大規模な改修工事が必要となります。 令和2年度に策定した「我孫子市老人福祉センター等個別施設計画」では、今後の施設維持に必要な工事費として、2館合わせて概算で約2億4千万円程度と試算しています。
	理由	①バスの運行を見直すべき。 利用者の大半(7割~8割)がバスを利用していない。 むしろ、我孫子駅との往復運行とし、遠方からの利用者を救済する等を提案したい。 これにより、バス運行費は大幅に削減される。 ②利用者の増加を望むのなら、毎月の広報等でもっとPRすべき。 一年間、毎月広報するなら、かなり増えると考え。また、現在の利用者が、ご近所を誘うならかなり増える。あるべき利用者数とは。 ③開館日を縮小 例えば、週3日(月・水・金)にする等が考えられる。 これで、経費が大幅に削減される。 ④運営する人を減らす。 受付する人が重複(男・女)等を減らす。 ⑤つつじ荘に統合は反対。 ・つつじ在は、市の中央に概ね位置し、多方面からの利用に便利と	現在は通常の維持コストに加え、物価高騰等により更なる増加が見込まれており、今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていくためには、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。 理由①について、送迎バスについては、不便なく、安全・安心に施設をご利用いただくためには必要な経費であると考えています。 1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。 理由②について、広報については、市や指定管理者のホームページに掲載されています。つつじ荘へ統合する場合は、SNSやインターネットを通じて施設利用のPRを進めることについて、指定管理者の公募の際に提案事項として検討し、引き続き周知を図つ

		<p>するが、利根川沿いにあり、一日中多くの車が往来し、大型車も多く交通事故が心配である。多くの利用者の車の駐車場も足りなくなる恐れがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスで行くには、多くの人を利用するのであれば、台数の追加が必要になることが考えられる。便数も増やす必要があるかもしれない。</li> <li>・つつじ荘の更衣室が狭く、大幅な改修が必要。</li> <li>・福祉施設は、我孫子駅に近い利便性の高い西部福祉センターの方が利点が多いのではないか。更衣室は大きく、風呂も大きい、休憩室も大きい。カラオケ室も大きい、麻雀室・囲碁将棋室もある。駐車場も十分ある。市役所や福祉協議会にも近い。</li> </ul>	<p>ていきます。</p> <p>理由③について、開館日を縮小したとしても、施設を安全に維持管理していくための保守管理委託料や送迎バスのリース料など年間を通してかかる費用についての削減は難しく、大幅な削減にはならないと考えます。</p> <p>理由④について、施設を安全に運営していくためには、現在の職員数は妥当であると考えています。</p> <p>理由⑤について、つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、西部福祉センターと比べると市内全体からアクセスがしやすい位置にあります。</p> <p>つつじ荘へ統合する場合には、現行の送迎バスの運行ルートを中心に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p> <p>更衣室の整備等についても施設を修繕する際に検討していきます。</p>
18-4	意見	試行をしてはどうか	<p>理由①について、統合する場合には、現行の送迎バスの運行ルートを中心に、活用しやすくなるよう検討していきます。</p> <p>理由②について、開館日については、つつじ荘に統合後、検討していきます。</p> <p>理由③について、統合先については、市の概ね中心に近いエリアにあることや施設規模等を勘案し、つつじ荘に統合することが適当であると判断しています。</p>
	理由	<p>①バスの運行を我孫子駅との往復に改める。</p> <p>②開館日を週3日とする。</p> <p>③つつじ荘を1~2か月休止、西部福祉センターに来てもらう。西部福祉センターを1~2か月休止、つつじ荘に来てもらう。この間に問題点を検討。場合によれば、両センターとも廃止することも考えられる。市の財政逼迫を考えれば、統合しても、コストに見合う利用者が増えなければ、統合のための改修費も不要となる。</p>	
18-5	意見	統合日を遅らせ様子を見る。	施設の管理運営費や老朽化により維持コ

	理由	5年～10年先に実施、利用者を納得させる。その間に、さまざまな対策を実施して、真のありようを模索。提案した対策を試行し、経費削減効果や、利用者の意見を吸収していく。期待効果が得られなければ、両センターの廃止も視野に入れる。利用者の増加が見込まれない・コストに見合う事業ではない。建物の改修など行わず、使えるまで使い、廃止していく。	<p>ストの増加が見込まれていることなどから、更に5年～10年の利用実績の検証は難しいと考えています。</p> <p>今後も市民全体のニーズに適切に対応しながら持続可能な財政運営を進めていく上では、1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
19-1	意見	1. 温浴用の燃料費は、西部福祉センターは、年約183万円であり、つつじ荘は年約246万円で、つつじより年約63万円安く、又、働く人も少ないので、人件費も安いのが現状です。又、両施設の温浴用燃料の種別は、西部福祉センターは都市ガス、つつじ荘は重油(LSA重油)である。燃料代等は下記①と②に示す。	<p>老人福祉センターを安全に管理運営していくためには、入浴施設の燃料費や人件費に加え保守管理委託料や修繕費などの経費もかかります。</p> <p>つつじ荘は、西部福祉センターよりも敷地、建物が大きいことから、管理運営費も西部福祉センターより多額となりますが、施設の規模から妥当な額であると考えています。</p> <p>給湯のためのボイラーは定期点検を行っており、適正に使用されています。</p> <p>また、給湯設備については、大規模修繕などの際に検討していきます。</p>
	理由	都市ガスは、二酸化炭素や窒素酸化物の排出が少なく、一方重油は、都市ガスと比較して大気汚染の原因となる二酸化炭素の排出が多いので、今後も引き続き大気汚染を一層高め、地球環境悪化に手を貸すことになる。その上光化学スモッグ(今年7月23日午後)発生時、市は市民の皆さんに自家用車の使用自粛のお願いの放送をしていたが、お願いだけではなく市は率先して地球環境を悪くする、重油の使用をやめるべきである。地球温暖化の影響は、一例として近年漁獲量の減少原因となってお	

		<p>り、軽視出来ないと考えます。 従って、西部福祉センターの廃止には、再度反対し、併せてつつじ荘の廃止が妥当であると考えます。</p> <p>①西部福祉センターは都市ガス（京葉ガス）を使用、2024年6月分燃料代は152,095円で、年間は約182万5千円、又働く人は1日当たり所長含め7人。（所長に問合せをした。）</p> <p>②つつじ荘は重油を使用、6月分の燃料代は204,600円で、年間は約245万5千円、又働く人は所長を含め、7～9人とのことでした。（市役所に問合せをした。）</p>	
19-2	意見	<p>第1回目の「パブリックコメント」では、両福祉センターの利用者は、市全体の高齢者から見れば、少なく、その利用者にお金をかけるのは、市全体の高齢者に対して公平でないと述べ、当該施設の経費削減により、他の施策にその経費を充てたいとの考えが、あるようです。その上で西部福祉センターの廃止の理由を数々挙げていたが、正当性はないと考え、それに下記理由をも加え、当該条例を廃止する条例には反対します。</p>	<p>老人福祉センターの利用者数は、高齢者の生活様式が多様化したこと、近隣センターなど的高齢者が利用できるコミュニティ施設の整備が進んだことなどから開設当初と比較し減少傾向にあります。利用者の固定化も課題となっています。</p> <p>コストでは、老人福祉センター2館の運営に要する費用から換算すると、利用者1日一人当たりのコストは、2,268円と高額になります。施設の老朽化による維持コストの更なる増加も見込まれます。</p> <p>限られた市の財源で社会情勢に伴い変化していく市民全世代のニーズに対応し、かつ持続可能な財政運営をしていく必要があることから、つつじ荘1館に統合することが適当であると判断しています。</p>
	理由	<p>西部福祉センターの方が、遅く建築されたので、当然今後の建物等の維持費等は安い。</p> <p>R5年の推定年間利用者数は、西部福祉センターの方が約1,300人と多いのに、廃止するのはおかしい。我孫子市の60歳以上人口が、今後</p>	<p>なお、市民活動や交流の場所として西部福祉センター開設当初と比較し、近隣センターや民間施設等において、市民主体の多様なサークル活動などが行われています。近隣セン</p>

		<p>増加することが見込まれるそうですが、70歳と80歳代の人口が増加するのにもかかわらず、当該利用者は増えなく、少なくなると推測しているが、元気でお金に余裕がある60歳代の利用者が少ないのは当然であり（午後3時で終わるお風呂へ行きますか？）、一方段々お金と元気がなくなる、70歳及び80歳代の人達は、時間に余裕が出来近場での温浴、囲碁、カラオケ、雑談等の娯楽を模索するようになるので、将来的にはお金のかからない近場での楽しい時間が過ごせる、両福祉センターのような施設の要望が高まり、廃止した施設はあった方が良かったと、後悔すると思われます。</p> <p>西部福祉センターを廃止しても、今までの施設の利用者は、我孫子市の中央に位置するが、交通の不便なつつじ荘を利用する人達は少なく、両施設延べ約2万5千人の利用者は、将来半減するものと推測される。</p> <p>西部福祉センターを廃止して削減した経費約4千100万円（令和5年見込み）は、庁舎及び議事堂新築費単年度用積立金（約7,400万円）に充てるのではないかと、説明会及びパブリックコメントにて質問したが、これに対する回答が無かったので、今回回答を特にお願ひしたいと思います。</p>	<p>ター等を交流の場所としてご活用ください。</p> <p>なお、西部福祉センターを廃止して削減した経費を、庁舎及び議事堂新築のための積立金には充てません。</p>
19-3	意見	<p>つつじ荘は市の中央部に位置し、立地的に見て公平な場所であり、</p>	<p>利用者について、つつじ荘は、市内の広い地域から来館していますが、西部福祉センタ</p>

	<p>又敷地面積も広いと述べているが、半面一日当たりの利用者は西部福祉センターと比較して（R5年度）少なく、且つ今後施設・設備等の維持管理費及び、人件費も多くかかるつつじ荘の方を、運営すると決めたことは非常に理解しにくいです。又、下記の理由をも加えて、つつじ荘の方の廃止を検討して頂き、西部福祉センター廃止には再度反対し、存続を提案致します。しかしながら、当該条例の廃止（案）が決まった場合には、必ず1年後以降につつじ荘の経費及び運営状態等、特に利用者数を検証して、公表することをお願い致します。</p>	<p>一は、我孫子地区が85%と集中していません。</p> <p>費用について、西部福祉センターの方が低額となっているのは、収容人員や面積など施設規模が小さいことや施設維持のために必要とされる修繕内容に違いがあるためです。</p> <p>1館に統合する場合は、市内全域から高齢者が集まるため、収容人員は重要な判断基準となります。</p> <p>収容人員は、つつじ荘は290名、西部福祉センターは100名であり、つつじ荘の方が約3倍の収容能力があります。</p> <p>また、1館に統合する場合は、西側の地域からつつじ荘にアクセスしやすいバスの運行など活用しやすくなるよう検討していきます。</p> <p>なお、老人福祉センターの指定管理料については、市の予算、決算を通じて公開されています。利用状況については、これまでも「我孫子市の統計」で公開しています。</p>
理由	<p>つつじ荘は、建物が古いので西部福祉センターよりも、建物の維持費用、燃料費、人件費が多くかかる。</p> <p>つつじ荘は市の中央部に位置しているが、近くにある「みどり台」地区からも遠く離れていて、不便な場所なので、当然徒歩で通うのは無理で、自転車、自家用車又は連絡バスに頼らざるを得ないと考えます。</p> <p>特に連絡バスの維持経費が増加すると思われる反面、乗って通う人は、さして増えなく、その上西部福祉センターを利用していた人達には、遠くにあるつつじ荘に、時間をかけて利用しようすることには、多く望めなく、今後の利用者は両福祉センター運営時代の利用</p>	



		者に比較して、半減すると考えます。	
20-1	意見	「老人福祉センターつつじ荘」の維持・継続を是非お願いします。	<p>市内全域からの利用を考慮すると、つつじ荘は、市域のやや東寄りにある概ね中心に近いエリアに位置しており、市内全域からアクセスがしやすい位置にあることに加え、西部福祉センターの約3倍の収容能力があることから、つつじ荘とすることが適当であると判断しています。</p> <p>つつじ荘へ統合する場合も入浴施設や大広間において利用者が安全で快適に利用できるよう、修繕等検討していきますので是非ご利用ください。</p>
	理由	<p>①お風呂+大広間（約80畳の和室）は私達シニアの健康に大きく貢献。夏のクーラー+冬の暖房は大変にありがたい。</p> <p>②少子高齢化の社会・今後もシニアはさらに増大拡大する。利用率の拡大へ。</p> <p>③ここの「つつじ荘」の自然環境が素晴らしい。</p> <p>④自然災害時の避難場所として大切。</p>	